



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年10月27日

上場会社名 ホクシン株式会社 上場取引所 東
コード番号 7897 URL <https://www.hokushinmdf.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 英明
問合せ先責任者(役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 池本 輝男 (TEL) 072-438-0141
四半期報告書提出予定日 2023年10月30日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	5,437	△18.0	△28	—	△25	—	△60	—
2023年3月期第2四半期	6,631	—	475	—	477	—	346	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	△2.13	—
2023年3月期第2四半期	12.21	—

(注) 2022年3月期第2四半期は四半期連結財務諸表を作成しているため、2023年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	14,036	5,698	40.6
2023年3月期	14,378	5,790	40.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 5,698百万円 2023年3月期 5,790百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2024年3月期の期末配当予想につきましては、現時点では未定としております。

3. 2024年3月期の業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	△14.6	70	△85.7	100	△79.6	110	△66.9	3.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年3月期2Q	28,373,005株	2023年3月期	28,373,005株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2024年3月期2Q	20,669株	2023年3月期	20,657株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年3月期2Q	28,352,341株	2023年3月期2Q	28,352,385株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴い、社会経済活動の正常化が進み、インバウンド消費や個人消費の持ち直しの結果、国内の経済活動は回復基調となりました。一方、世界各国と我が国との金融政策の違いによる円安進行や海外経済の減速懸念、ウクライナ情勢や原油生産国の減産継続を背景としたエネルギー・資材価格の高止まりが依然続いており、先行き不透明な状況であります。

当社と関係の深い住宅業界におきましては、資材価格の高止まり及び賃金上昇は住宅価格を上昇させ、加えて住宅ローン金利の先高観等により住宅取得マインドが低下しました。結果として新設住宅着工戸数は、4月から8月累計で前年同期比6.1%の減少となりました。特に当社の販売に関係の深い持家の新設住宅着工戸数が、21か月連続前年同月比マイナスが続き、同累計で前年同期比9.8%減と大幅に落ち込む結果となりました。

当事業年度における当社業績につきましては、新設住宅着工戸数の減少傾向とともに、主力の建材用途及び、フロア基材用途、構造用途の販売が低迷したことにより生産調整を実施してまいりました。また、原油価格と連動するエネルギー費及び接着剤原材料費は、前年度下期と比べ緩和の兆しが見えてきたものの依然高止まりの状態が続き、販売単価への転嫁で吸収することができず、収益を確保することができませんでした。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は54億37百万円（前年同期比18.0%減）、営業損失は28百万円（前年同期は営業利益4億75百万円）、経常損失は25百万円（前年同期は経常利益4億77百万円）、四半期純損失は60百万円（前年同期は四半期純利益3億46百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

流動資産は、前事業年度末に比べて3億28百万円減少し、78億57百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金と商品及び製品の減少によるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べて13百万円減少し、61億78百万円となりました。これは主に減価償却による有形固定資産の減少によるものです。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて3億42百万円減少し、140億36百万円となりました。

②負債

流動負債は、前事業年度末に比べて2億84百万円減少し、60億15百万円となりました。これは主に短期借入金の増加と支払手形及び買掛金、1年内返済予定の長期借入金の減少によるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べて34百万円増加し、23億21百万円となりました。これは主に繰延税金負債の増加及び長期借入金の減少によるものです。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて2億50百万円減少し、83億37百万円となりました。

③純資産

純資産は、前事業年度末に比べて91百万円減少し、56億98百万円となりました。これは主に利益剰余金の減少によるものです。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末と比べ91百万円減少し、15億82百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって得られた資金は、99百万円(前年同期は2億7百万円の収入)となりました。主な増加要因は、減価償却費、売上債権の減少、棚卸資産の減少によるものです。主な減少要因は、仕入債務の減少と割引手形の減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって使用した資金は、1億3百万円(前年同期は94百万円の支出)となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって使用した資金は、86百万円(前年同期は1億3百万円の支出)となりました。これは主に配当金の支払によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

住宅業界におきましては、コロナ禍からの世界経済の回復に伴い、インバウンド需要や賃金上昇による国内景気の回復が期待されますが、高止まりしている原材料費及びエネルギー費による住宅資材価格への影響や、住宅ローン金利の上昇懸念により、新設住宅着工戸数は厳しい状況が続くと予測されます。このような状況下であります。一層の効率的な生産及び品質改善を推し進め、引き続き数量、価格ともに安定して市場に供給できるよう努めてまいります。

なお、当社の通期業績予想につきましては、9月29日に公表しました2024年3月期の業績予想からの変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,673,614	1,582,461
受取手形及び売掛金	2,033,795	1,936,791
電子記録債権	1,432,194	1,456,129
商品及び製品	1,594,433	1,373,796
仕掛品	360,702	353,123
原材料及び貯蔵品	1,014,407	1,046,767
その他	77,113	108,647
流動資産合計	8,186,262	7,857,718
固定資産		
有形固定資産		
機械及び装置(純額)	1,668,629	1,574,921
土地	3,194,589	3,194,589
その他(純額)	690,140	685,099
有形固定資産合計	5,553,360	5,454,610
無形固定資産	15,144	21,082
投資その他の資産		
投資有価証券	608,491	686,501
その他	15,539	16,802
貸倒引当金	△600	△600
投資その他の資産合計	623,430	702,703
固定資産合計	6,191,935	6,178,396
資産合計	14,378,197	14,036,114
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,984,729	2,672,504
短期借入金	1,200,000	1,490,000
1年内返済予定の長期借入金	1,734,720	1,503,090
未払法人税等	57,494	13,100
賞与引当金	115,900	118,900
その他	208,064	218,371
流動負債合計	6,300,908	6,015,965
固定負債		
長期借入金	2,148,400	2,116,800
繰延税金負債	98,391	165,863
退職給付引当金	18,967	17,515
環境対策引当金	47	47
資産除去債務	11,512	11,701
その他	9,309	9,364
固定負債合計	2,286,627	2,321,291
負債合計	8,587,536	8,337,256

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,343,871	2,343,871
利益剰余金	3,341,089	3,167,201
自己株式	△3,597	△3,599
株主資本合計	5,681,362	5,507,473
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	105,955	160,344
繰延ヘッジ損益	3,343	31,040
評価・換算差額等合計	109,298	191,385
純資産合計	5,790,661	5,698,858
負債純資産合計	14,378,197	14,036,114

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	6,631,641	5,437,696
売上原価	5,380,411	4,766,674
売上総利益	1,251,230	671,021
販売費及び一般管理費	776,078	699,134
営業利益又は営業損失(△)	475,151	△28,113
営業外収益		
受取利息及び配当金	9,916	9,779
その他	7,389	6,722
営業外収益合計	17,305	16,501
営業外費用		
支払利息	9,847	10,700
固定資産除却損	5,179	2,732
その他	326	151
営業外費用合計	15,353	13,584
経常利益又は経常損失(△)	477,103	△25,196
特別損失		
貸倒引当金繰入額	201	-
特別損失合計	201	-
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	476,901	△25,196
法人税等	130,634	35,281
四半期純利益又は四半期純損失(△)	346,267	△60,478

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	476,901	△25,196
減価償却費	149,661	146,424
受取利息及び受取配当金	△9,916	△9,779
支払利息	9,847	10,700
売上債権の増減額 (△は増加)	△851,096	162,155
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△561,539	195,856
前払費用の増減額 (△は増加)	△35,930	△42,868
未収消費税の増減額 (△は増加)	-	51,926
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△53,607	65,689
仕入債務の増減額 (△は減少)	724,633	△312,225
割引手形の増減額 (△は減少)	463,736	△89,086
その他	9,637	△13,182
小計	322,328	140,414
利息及び配当金の受取額	9,916	9,779
利息の支払額	△9,955	△10,480
法人税等の支払額	△117,948	△43,087
その他	3,244	2,646
営業活動によるキャッシュ・フロー	207,584	99,271
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△89,893	△92,564
その他	△4,451	△11,218
投資活動によるキャッシュ・フロー	△94,344	△103,783
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△150,000	290,000
長期借入れによる収入	1,000,000	700,000
長期借入金の返済による支出	△839,670	△963,230
配当金の支払額	△113,409	△113,409
その他	△9	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△103,089	△86,640
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	10,150	△91,152
現金及び現金同等物の期首残高	1,674,079	1,673,614
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,684,230	1,582,461

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。